

展示室1c ルドンコレクションから — 聖アントワーヌの誘惑

2024年1月5日(金)～4月7日(日)

○印は2月18日まで、●印は2月20日から展示

岐阜県美術館では、開館以来19世紀末フランスの画家オディロン・ルドン(1840-1916)の作品を重点的に収集し、現在250点を超える、世界有数のコレクションを形成しています。

本展示では、ギュスターヴ・フロベールによる小説『聖アントワーヌの誘惑』(1874)に着想を得た大作である版画集『聖アントワーヌの誘惑』を中心に紹介します。物語が持つイメージを超えた、ルドンの独創性と幻想性あふれる世界をおたのしみください。

作家名	生年-没年		作品名	制作年	技法、素材
オディロン・ルドン	1840-1916	○	<small>せい</small> 『聖アントワーヌの誘惑』第一集	1888	リトグラフ、紙
		○	『ギュスターヴ・フロベールに』 (『聖アントワーヌの誘惑』第二集)	1889	リトグラフ、紙
		●	『聖アントワーヌの誘惑』第三集	1896	リトグラフ、紙
		○	とらわれのペガサス	1889	リトグラフ、紙
		○	<small>つ</small> 憑きもの	1894	リトグラフ、紙
		○	<small>みみ さいぼう</small> 耳の細胞	1894	リトグラフ、紙
		○	<small>ぶつだ</small> 仏陀	1895	リトグラフ、紙
		●	<small>おんな</small> シュラミの女	1897	リトグラフ、紙
			<small>め</small> 眼をとじて	1900以降	油彩、画布
	ファエトンの墜落 <small>つらいく</small>	1905-06頃	油彩、板		